

第2回 在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

グループワーク

テーマ①地域における連携「患者情報の共有について考えよう」

テーマ②病院と在宅の連携「退院支援について考えよう」

【目的】

第1回研修会における議論を深め、更なる連携を図る。

【開催日時】 平成25年3月14日(木) 19:00~21:00



参加者 総数 121名 (市内全域から参加)

- | | | | |
|--------------|-----|-----------------------|-----|
| • 熊本市医師会 | 26名 | • 熊本市訪問看護ステーション連絡会 | 10名 |
| • 下益城郡医師会 | 3名 | • 熊本市居宅介護支援事業者協議会 | 18名 |
| • 熊本市歯科医師会 | 2名 | • 熊本市地域包括支援センター連絡協議会 | 10名 |
| • 熊本市薬剤師会 | 6名 | • 熊本県介護福祉士会 | 2名 |
| • 熊本県看護協会 | 2名 | • 熊本市老人福祉施設協議会 | 2名 |
| • 熊本県栄養士会 | 2名 | • 急性期病院(医師、看護師、MSWなど) | 15名 |
| • 熊本県理学療法士協会 | 1名 | • 区役所職員 | 10名 |
| • 熊本県作業療法士会 | 2名 | • 健康福祉子ども局職員 | 3名 |
| • 熊本県MSW協会 | 4名 | • その他 | 1名 |
| • 熊本県歯科衛生士会 | 2名 | | |

グループワークで出された意見(一部抜粋)

テーマ①地域における連携「患者情報の共有について考えよう」

知りたい患者情報

【医療面】・患者や家族に説明した内容、予後予測、治療の経過など

【生活面】患者や家族の気持ち、生活環境など

スムーズな情報共有を行うために(解決策)

患者を中心にした小さなネットワークで顔の見える関係作り

多職種共通の連携ツールを作成する

メリハリのあるカンファレンスを行う

各職種がどこまでできるのか知ることが大切

連携先が何を求めているか考えて情報提供すべき

病院との情報共有には地域医療連携室を活用する

職種ごとの問題点を共有することが重要であり、共有する機会をもつことが必要

各職種がスキルアップし、情報を扱う判断力を身につける

栄養士や歯科医師との連携方法の確立を

専門職としての役割を果たしていくことが大切

情報は自分から取りにいく

事前指定書の取り組みを進めて、緊急時に役立てたい

グループワークで出された意見(一部抜粋)
テーマ②病院と在宅の連携「退院支援について考えよう」

退院支援の課題

- 病院スタッフに在宅の視点がない
- 急性期、慢性期、在宅で欲しい情報が違う
- 病院からの情報提供書が在宅スタッフに伝わらない

スムーズな退院支援を行うために(解決策)

生活の場に帰るのが当たり前という意識を持つ

病院医師の意識改革

すべての患者に退院支援を行う

各立場で必要な情報を明確にしておく

情報伝達のシステム化

共通の様式の作成

サマリーや連携シートの活用

在宅側から病院へ情報のフィードバックを

入院中から在宅スタッフが積極的に関与する

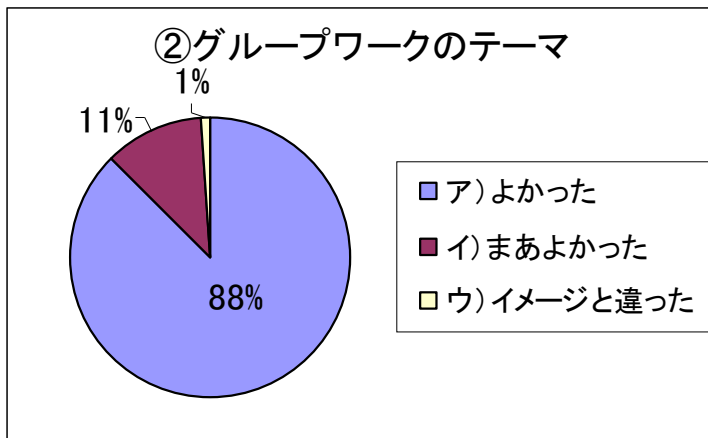
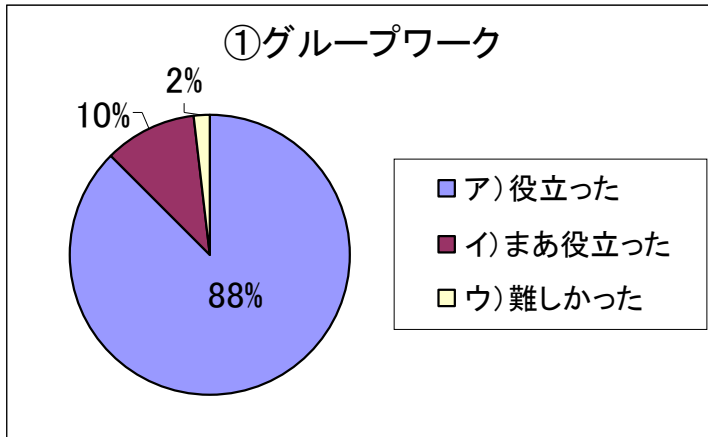
緊急時の対応を確認しておく

事前指定書の活用を

研修会後のアンケート

回答数 99 (回答率 85%)

1 研修会のプログラムについて



2 今後、どのような職種などと話し合いがしたいか

○介護サービス事業所など

訪問介護事業所 8
訪問入浴
通所介護事業所 2
通所リハビリ事業所 2
福祉用具
介護タクシー
介護福祉

○医療関係

病院医師 (実地臨床医)
精神科医療機関
(認知症などの対応)
調剤薬局 3
理学療法士 3
作業療法士 3
歯科衛生士
言語療法士

○高齢者施設

介護老人保健施設 3
特別養護老人ホーム
老人ホーム 3
グループホーム 3
小規模多機能型居宅

○行政

保健所、行政実務者
役場の住宅関係の部署
高齢、介護、障害関係の部署
警察、消防署、消防団

○その他

民生委員 6
宅配業者 (配食も含む) 5
自治会
マッサージ業者
社協、権利擁護、成年後見人 (社会福祉士、司法書士など)
患者、利用者、家族代表
8020推進員などのボランティア団体

研修会後のアンケート

4 研修会に関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- ・主治医を中心にどれだけ連携を図れるかが今後の大きな課題。
- ・在宅は生活の場であり、療養の場であることを再確認した。
- ・現場でしっかり取り組んでいる方々の熱心な話と悩みが聞けてとても参考になった。
- ・いろいろな職種が連携することでスムーズにいくと思っているのは全員一致している考えだと思う。
- ・職種間でかなり見方・考え方が異なることがわかり、大変勉強になった。
- ・前回よりも活発な意見交換ができた。より狭い地域でさらに掘り下げていければと思う。
- ・区ごとに小さな取り組みも必要だが、最終的に広域の視点がないといけないと思う。
- ・有意義な意見交換ができており、互いの理解を深めるいい機会になっている。
- ・このような研修会を継続してほしい。